

各國の人口一萬に對する結核死亡累年比較

	年	次	日本	英吉利	佛蘭西	伊太利	獨逸	荷蘭	北米合衆國	白耳義	丁抹
一一一五歳	四八	七九	二二七								
一六一二〇歳	四五〇	三一〇	七六〇								
一一一五歳	五三一	三六三	八九四								
一六一三〇歳	三八六	二九九	六八五	同	大正元年(一九一三年)	二年(一九一三年)	三年(一九一四年)	二一〇	二年(一九一六年)	五年(一九一六年)	一四九
一一三五歳	二六七	一四九	四一六	同	三年(一九一四年)	二一〇	四年(一九一五年)	二一〇	六年(一九一七年)	六年(一九一七年)	一四九
三六一四〇歳	一六五	七八	二四三	同	二一〇	二一〇	五年(一九一六年)	二一〇	七年(一九一八年)	七年(一九一八年)	一四九
五一一六〇歳	五二	六〇	二三〇	同	二一〇	二一〇	六年(一九一七年)	二一〇	八年(一九一九年)	八年(一九一九年)	一四九
六一歳以上	四五	二七	七八	同	二一〇	二一〇	七年(一九一八年)	二一〇	九年(一九二〇年)	九年(一九二〇年)	一四九
計	二二二一	一、三九九	三、五二〇	同	二一〇	二一〇	八年(一九一九年)	二一〇	十年(一九二一年)	十年(一九二一年)	一四九
(備考) 前段に同じ				同	二一〇	二一〇	九年(一九二一年)	二一〇	同	同	一四九
患者一人當經常費調(昭和十三年度)		一・九六		同	二一〇	二一〇	十年(一九二一年)	二一〇	同	同	一四九
平均一日		七一五・四〇		同	二一〇	二一〇	同	二一〇	同	同	一四九
(備考) 報告洩れの熊本市立戸馳療養所を除く二十五箇所合計の平均なり				同	二一〇	二一〇	同	二一〇	同	同	一四九
患者一人一日當經費調(昭和十三年度)				同	二一〇	二一〇	同	二一〇	同	同	一四九
食 費	円	〇・四一二		同	二一〇	二一〇	同	二一〇	同	同	一四九
醫療費		〇・一四八		同	二一〇	二一〇	同	二一〇	同	同	一四九
被服及寢具費		〇・〇一三		同	二一〇	二一〇	同	二一〇	同	同	一四九
其の他		〇・二八一		同	二一〇	二一〇	同	二一〇	同	同	一四九
計		〇・八五四		同	二一〇	二一〇	同	二一〇	同	同	一四九
(備考) 前段に同じ				同	二一〇	二一〇	同	二一〇	同	同	一四九

各國結核死亡率累年比較

厚生省豫防局の調査による日本及び世界主要國の大正元年(一九一二年)以降累年結核死亡率(人口一萬に対する結核死亡)は次の如くである。

外務省の在支邦人人口數調

外務省の調査による昭和十五年四月一日現在の中華

民國在留本邦人人口概計、並に事變直前との比較を擇れば以下の如くである。

中華民國在留本邦人人口比較

外務省の在南洋地方本邦内地人職業別
人口調

外務省調査部の集計による在比率（グワムを含む）、蘭領東印度、英領北ボルネオ及び英國保護サラワク、英領マレー、佛領印度支那並にタイ國の本邦内地人職業別人口の詳細（昭和十三年十月一日現在）は次表の如くである。